

## 第4回国際フォーラム

主催：研究部門「東アジアの人文知」

# 「越境する人文知」

日時：2016年12月10日(土)14:00～18:00 場所：33号館6階国際会議室

14:00～14:05 開会の挨拶：河野貴美子（早稲田大学教授）

1. 劉新萍（河南理工大学外国語学院） <14時05分～14時45分>

「百詠和歌」における百詠詩の日本化

司会兼コメンテーター：司志武

2. Yannick Maufroid (ヤニック・モフロワ) (INALCO)

<14時45分～15時30分>

島尾敏雄の「病妻もの」における「ヌーヴォー・ロマン」の問題

—— 小説と反小説との交差

司会兼コメンテーター：未定

3. 張海濤（中国石油大学）

<15時30分～16時20分>

1989年代中国の新啓蒙主義とその新たな文学的成果

(1980年代中国的新啓蒙运动及其中断的文学后果)

司会兼コメンテーター：千野拓政

通訳：陸賽君

4. 朴健（北京大学中文系博士後期課程）

<16時35分～17時15分>

映画「白毛女」にみる「風景」の意味作用

司会兼コメンテーター：千野拓政

5. 徐萌（上海大学伝播学院博士後期課程）

<17時15分～17時55分>

戦時上海における日本新聞紙の変遷—「上海日報」から「大陸新報」まで

司会兼コメンテーター：千野拓政

17:55～18:00 閉会の辞：千野拓政（早稲田大学教授）

\* どなたでもご聴講いただけます お問合せ先：千野拓政研究室 03-5286-3695 t-senno@waseda.jp